

TOPICS 504住戸改修プロジェクトが進行中。

Concept

和の居住文化の継承・発展

伝統的な日本の住まいにおいて、自然の力を活用する「パッシブデザイン」や、身の回りの資源を循環活用する「サーキュラーデザイン」は当たり前に行われていました。住まいに付属する蔵や納屋には資材がストックされ、生ごみや糞尿の堆肥化も行われていました。

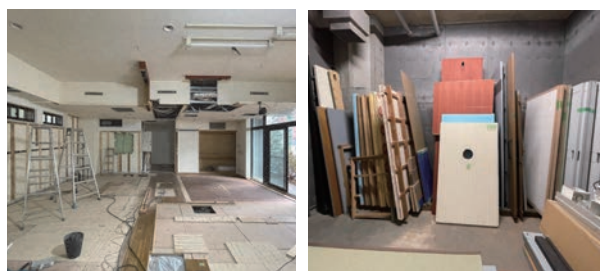
また、多世代が共に暮らすことも多く、包容力のある住まいだったと言えます。

このような和の居住文化を改修住戸に継承することで、人新世と言われ、地球環境危機に直面している現代に求められる新しいサステナブルな暮らしを実現していきます。

物件概要

対象住戸 5階504住戸
原設計者 建築環境研究所 吉村篤一
延床面積 134.64㎡
スケジュール 2025年4月 解体開始
2026年2月 竣工予定

	2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
住戸改修 関連工事	基本設計		実施設計		調整設計			
					解体工事		改修工事	
	●6/14プレスリリース							
					●竣工			



住戸の部材をできるだけ再利用できるように丁寧に解体した状態（左）
504住戸に再利用するため、地下の設備室に一時保管されている部材（右）

17

改修コンセプト

サーキュラーデザイン

本改修では、「インフィル」自体の建材調達・施工さらには解体・廃棄に係るエネルギーを削減することに取り組んでいます。

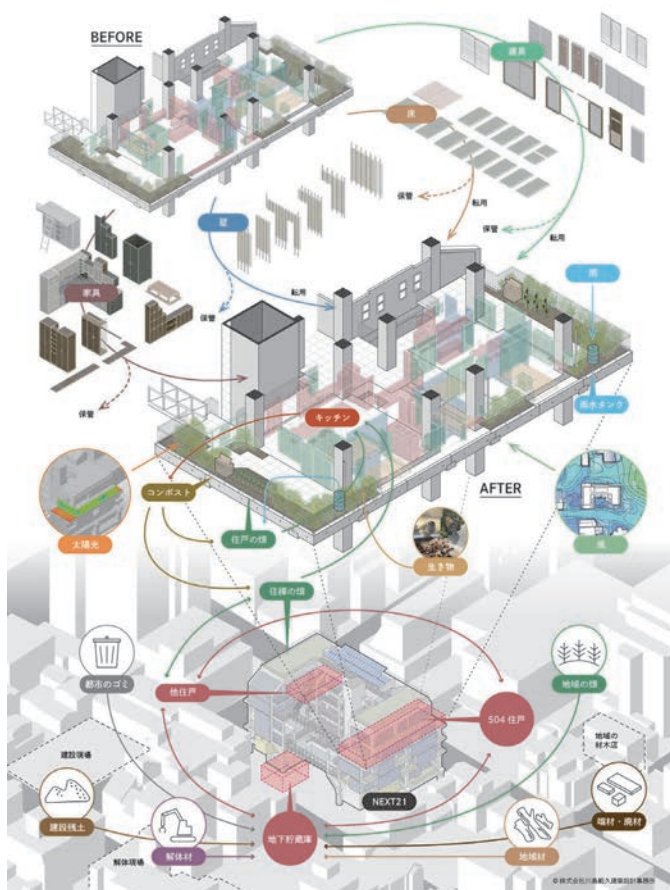
その一環として、既存住戸の材料を可能な限り利活用し、新たに導入する材料については、周辺地域や都市の中で日々発生する廃棄物や、自然に還る「自然素材」を活用することを試んでいます。

また、将来的に改修や解体が容易に行える構工法を採用し、NEXT21や地域の住民も施工プロセスに関与できるようにします。住民自身がメンテナンスを行える環境を整えることで、住まいに対する愛着が生まれ、長く使い続けられる住宅の実現を目指しています。

NEXT21の地下機械室の空きスペースを有効活用し、NEXT21を起点とした地域規模の資源循環ネットワークを構築していく計画です。

さらに住戸のテラスには畑と雨水タンク、コンポストボックスを設置します。堆肥化した生ごみを畑の土壌改良剤として利用することで、畑で育った作物をテラスやキッチンで即座に調理し、食すことができます。

NEXT21・504号室改修におけるサーキュラーデザイン



18

パッシブデザイン

立体的で緑豊かな「都市環境」を形成し、多様で快適な微気候が存在しています。この微気候を丁寧に読み解き、環境シミュレーションを活用することで、自然の力を最大限に引き出す建築計画を実現しています。

具体的には、ダイレクトゲイン(日射取得)／日射遮蔽／蓄熱／屋光利用／自然通風／断熱・気密といった要素を取り入れ、住環境の快適性を向上させるための高効率な設備システムを構築しています。

また、伝統的な和の居住文化である中間領域や、建具の活用により、地域に根差した住宅環境を創出するとともに住民のライフスタイルに合った空間を提供しています。

多様なライフスタイルに対応可能な 新たな一室空間の実現

一般的な<nLDK>プランでは、リビングが中心的な居場所と位置付けられることが多いですが、本計画では、複数のリビングが連なる多中心的な一室空間を実現します。

この複数のリビングは、それぞれ異なる設えを持ち、さまざまな姿勢や活動ができるように工夫されています。住民は、自分の好きな場所で思い思いの時間を過ごすことができます。また可動建具により一室空間のつながり方や分節を調整し、外から他者を招き入れることも可能にしています。

環境シミュレーションを活用したパッシブデザイン



©川島範久

住戸改修テーマ検討

改修テーマは、社外有識者の方々と大阪ガスからなるワーキンググループで検討しました。

住戸計画の検討は、この6名の先生方にインフィル設計の川島 範久先生にも加わっていただき、進めました。



京都美術工芸大学教授
京都大学名誉教授
高田 光雄氏



東京大学教授
清家 剛氏



立命館大学教授
近本 智行氏



集工舎建築都市デザイン
研究所所長
近角 真一氏



追手門学院大学教授
加茂 みどり氏



大阪公立大学講師
土井 脩史氏

Design

インフィル設計者

1982年生まれ。2005年東京大学工学部建築学科卒業。07年同大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了後、日建設計勤務。12年UCパークレー客員研究員。16年東京大学大学院博士課程修了。東京工業大学助教などを経て、現在明治大学准教授。株式会社川島範久建築設計事務所代表取締役。博士(工学)。14年「NBF大崎(旧ソニーシティ大崎)」にて日本建築学会賞(作品)、23年「環境シミュレーション建築デザイン実践ガイドブックー自然とつながる建築をめざして」にて日本建築学会著作賞、24年「GOODCYCLEBUILDING 001|浅沼組名古屋視点改修PJ」にて日本建築学会作品選奨を受賞。



株式会社
川島範久建築設計事務所
川島 範久氏

クラディング設計者



集工舎建築都市デザイン研究所
荒川 裕樹氏